

蘇州日本人学校における職員連携の実践

前蘇州日本人学校教諭

島根県安来市立布部小学校教諭 瀬川 明臣

キーワード：職員連携、理解、つながり

1. はじめに

在外教育派遣にあたり、言語・文化・生活様式等の違いがあることを、頭では理解していたつもりであったが、実際に肌で感じてみると、多くの不便や困難さがあった。また、帯同した子どものうち2人を現地の幼稚園に入園させることになり、中国の方は当然のように知っている文化的行事も日本人には馴染みがないものが多く、妻と共に不安になることもあった。このような生活が始まった中で、既に派遣されていた教職員からのアドバイスや支えは非常に有難く、日々の生活に無くてはならないものであった。このことから、在外教育施設における職員間の連携が非常に重要だと実感したため、表題の実践を行った。

2. 教職員間の連携向上への実践

蘇州日本人学校 2学期学校公開日 9月9日(月) 授業予定・単元・見どころの紹介

蘇州の少人数授業で、コースの教室場所が書かれていない学年は、当日の掲示をご確認くださいませ。ご来校、お待ちしております！

学年	組	9月9日(月) ()内の時間は中学期です。											
		① 8:45~9:30(9:35)	② 9:45~10:30(10:35)	③ 10:50(10:45)~11:35	④ 11:45~12:30(12:35)	⑤ 13:45~14:30(14:35)	⑥ 14:45~15:30(15:35)						
小学部	1	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	2	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	3	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	4	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	5	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	6	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
		算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
中学期	1	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	2	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	
	3	算数	体育	音楽	国語	生活	国語	学芸	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	蘇州っ子	

図1 学校公開時にまとめた授業の見所一覧

そして、学校キャラクターである「ジャスパーズ」を活用し、教職員の日々の業務に役立ててもらおうと考えた。全校児童生徒の意見をもとに作られたキャラクターのため、子どもたちの認知度は非常に高い。そのため、ノートや提出物のチェック等に活用しやすいよう、教職員一人ひとりの要望に応じた専用のハンコを作成した(図2)。また、学校行事等で要請があった場合は、キャラクターに扮して教職員や保護者の前に立ち、学校行事を盛り上げることができた。着ぐるみの着用経験は大変貴重であり、教職員にも楽しんでもらうことができた。

更に、職員がワンチームとなることを目指し、校内通信を発行して職員間の連携向上に努めた。内容は「教職員



図2 作成した個別のハンコ

一人ひとりの努力を発信しながら、互いの素敵な行動を理解しあう」というものである（図3）。

他にも、修学旅行や宿泊行事担当の該当学年に対して、蘇州に残っている職員からの応援メッセージを送信し、業務内容の充実を目指した。また、旅行期間中の活動を全教職員で共有するために、職員室に宿泊先での情報を随時発信した（写真1）。印刷室は教職員が使用しない日はないため、職員全員の円滑な業務遂行を願いながら、年間を通して清掃と整理整頓を行った。



図3 校内通信「あすっこ！」



写真1 宿泊行事中の職員室の様子

3. まとめ

教職員がチームとしてつながることの重要性は、文部科学省のホームページ「チームとしての学校」に述べられている通りである。それぞれの専門性を生かし、学校マネジメント機能を強化し、一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境にある学校。そのような学校では、教職員は生き活きと業務に就き、保護者や地域とも上手くつながることができるだろう。

私はこの3年間で、他者への尊敬の念や感謝の気持ちを忘れず、相手のことを知ろうと努力し、理解してつながることの重要性を改めて感じた。当地で体験した困難や苦労も、今は非常に貴重な体験として、肯定的に受け止めることができている。それは、蘇州で出会った全ての方々のおかげだと思う。心から感謝したい。

また、海外での生活を通して、家族の有難さや大切さを再認識した3年間ともなった。

この経験や出会いから受けた恩を返すことができるよう、努力を続けたい。